

別府暮らし
を見つめる

ラーニングチームで制作に関わった4人の学生

「他大学とのつながりができた。」「もっと別府が好きになった。」「またこの企画に参加したい。」と笑顔で話してくれました。

立命館アジア太平洋大学3年
山本響さん

立命館アジア太平洋大学4年
金島未歩さん

別府大学2年
甲斐麻奈未さん

別府大学3年
久門健太さん



① 他大学の学生が協働して



② 3つの切り口から考察

ゲスト編集者（桜井祐さん、川田洋平さん、瀬下翔太さん）がそれぞれ設定したテーマ「パブリック」「ナラティブ」「ラーニング」に分かれて制作しました。

学生とゲスト編集者で別府のタブロイドを制作

別府市とビームスは、これまで「あたらしいみやげもの」開発（BEAMS EYE on BEPPU）などを通じて、別府の魅力を中心に発信してきました。

今回の「BEPPU* Local Paragraphs」は、ビームスディレクターズルーム監修の下、市内の大学に通う学生と様々なジャンルで活躍するゲスト編集者で共同温泉や個人店、学生寮・下宿など、別府の大切な文化資源を題材にリサーチやワークショップを重ね、タブロイドを制作しました。

参加した学生からは、「改めて別府の魅力に気付くことができた。」「プロの編集者から仕事や技術を体験しながら学ぶことができた。」「他大学の学生と交流を持つことができた。」などの声が届いています。

また、本プロジェクトをきっかけにゲスト編集者の事務所で働きながら進路を考えている学生もいます。

今後も本プロジェクトをさらに発展させて、別府の未来につながる取組として実施していきます。



④ 配布先

別府市役所2階秘書広報課、ビームス大分（アミュプラザおおいの内）、立命館アジア太平洋大学、別府大学などで無料配布しています（無くなり次第終了）。

※①②③の写真は、第1回ワークショップの様子。第2回以降はオンラインで実施。④は、タブロイド4ページです。

※今年度も本プロジェクトを実施します。詳細は、市ホームページなどでお知らせします。

☎ 秘書広報課 ☎ 21-1123

